



小道

きめけて、

日野

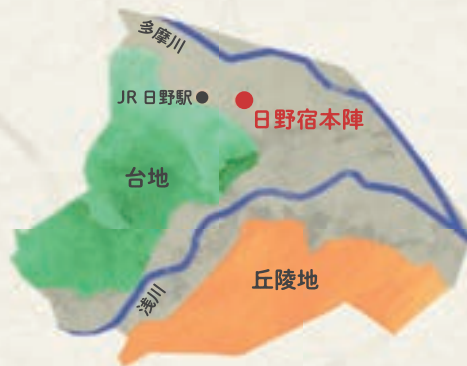
めぐりましまし

武蔵野美術大学 学芸員課程実習企画

日野の地形

日野市の地形は、多摩川と浅川の流域に広がる低地と、北西部の台地、そして南部の丘陵地きゅうりょうちから成り、土地の高低差が特徴です。

低地には、主に河川から取水した用水が網の目のように張り巡らされ、古くから水田稲作が盛んです。甲州街道の日野宿には日野用水が流れ、周囲には水田が広がっていました。台地には、かつて畑や雑木林が広がっていましたが、明治時代中期から桑畑へと変わりました。昭和初期から大工場が立地し、今では住宅地としても利用されていますきゅうりょうち。丘陵地は1960年代から宅地化が始まりました。雑木林も残り、緑豊かな住宅地となっています。



制作

武蔵野美術大学博物館実習ID履修生

会期

令和6年8月6日(火)～8月25日(日)

会場

日野宿本陣(東京都日野市日野本町2-15-9)

お問い合わせ

日野市ふるさと文化財課(東京都日野市神明4-16-1)

電話 042-583-5100

mail shinsenr@city.hino.lg.jp

日野といえば、新選組？

江戸時代に甲州街道の宿場町として栄えた日野本町区には、街のさまざまな場所に新選組に関連するスポットがあります。でも、他にもまだみんなに知られていない日野の街の魅力があるんじゃないか？それって一体何だろう？そんな気持ちで私たち武蔵野美術大学の学生11人が日野の街を探索しました！心安らぐ自然、涼やかな水路、歴史を感じる石仏、胸のすく絶景。そんな“日野のとおき”を紹介するために生まれたのがこのマップです。

マップを片手に、私たちが感じた日野本町の魅力を共に体感してみませんか？



こうしんとう
わかれ道の庚申塔

日野宿本陣

小道について
入ってしまうの
にゃん…



こみちねこ

日野の小道が好きすぎるあまり小道のような形になってしまったねこ。



看板を見つけてみよう！

ピンが立っているポイントは、私たちのおすすめスポット！プチ情報の書かれた看板が近くに設置されています。看板を見つければ、クイズの答えもわかるかも？



ステキな場所をいっしょにめぐるにゃん！

大昌寺北側



水路の水はどこから？

澄んだ水が流れ、多様な生物のすみかとなっている日野用水。永禄10年(1567年)に開削したと伝えられており、かつて盛んだった稲作を支えていました。

川から取水している

見どころポイント



水路

- ① 煉瓦製の通水路
- ② 大昌寺北側
- ③ 精進場
- ④ 日野第一中学校横
- ⑤ 仲田の森蚕糸公園



新選組

- ① 井上源三郎の墓(宝泉寺)
- ② 新選組のふるさと歴史館
- ③ 佐藤彦五郎の墓(大昌寺)
- ④ 日野宿本陣



石仏

- ① 坂下地蔵堂
- ② とんがらし地蔵
- ③ わかれ道の庚申塔
- ④ 参道の庚申塔
- ⑤ けんころ地蔵
- ⑥ 福地蔵



おすすめ

- ★ 百段階段



日野宿本陣



動物がモチーフのかざり、いくつ見つけられる？

新選組にもゆかりの深い、都内で唯一現存する本陣建築。建物にはさまざまな意匠がこらされており、見どころ満載です！

がいた！

日野宿の見守り番

江戸時代、日野宿の西端に建てられた地蔵堂。中で祀られている坂下地蔵は西の地蔵とも呼ばれ、道に面してならば 体のお地蔵様と共に、宿場を出入りする人々を見守ってきました。



坂下地蔵堂

百段階段



ほんとに百段もあるのかな？

両脇の傾斜地には、雑木林による“緑の壁”が広がります。上、横、下。どこから眺めても絶景です！

段あった！